

大学コンソーシアム富山 令和3年度「とやま地域学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和3年度共同授業科目「とやま地域学」
実施機関	富山国際大学（担当教員：助重雄久 富山国際大学 現代社会学部教授）
趣旨・目的	富山の歴史・文化、環境、産業の現状、立山連峰や富山湾に代表される富山の自然環境を学び、富山の特色を理解する。そして持続可能な社会、地域づくりを考え、未来の富山や世界の姿を展望する。
開催日時	令和3年8月30日(月)～9月2日(木)の4日間
開催場所	Zoomによる遠隔授業
参加人数	学生87名 【内訳】・富山大学15名 ・富山県立大学44名 ・高岡法科大学3名 ・富山高等専門学校12名・富山国際大学13名
事業内容	<p>【令和3年度概要】 今年度の「とやま地域学」は、「富山の魅力と宝物の発見」をテーマとし、県内大学生の皆さんに富山をもっと知り、その魅力を発見してもらうことを目的に企画しました。 講師陣は富山在住の研究者・専門家を招聘し、「未来の富山について考える」、「富山の産業と生活について考える」、「富山の自然と歴史について考える」について解説いただき、富山の魅力と課題を理解し、アフターコロナ時代においても一人ひとりが輝く富山の地域づくりに参画できる人材の基礎力の育成を目指しました。終了後の学生評価はおおむね4点以上（5点満点）で好評でした。</p> <p>【第1日目：8月30日(月)】 ①出席確認、通信状況確認（9:45～10:15） 学長挨拶 「とやま地域学」で学んで欲しいこと（10:15～10:30） （富山国際大学学長 高木 利久） ②授業ガイダンス・日程等に関する説明（10:40～12:10） （富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久） ③AI、デジタル化社会から見る富山（13:00～14:30） （富山国際大学現代社会学部教授 新森 昭宏） ④富山の観光とその未来－北陸新幹線の敦賀延伸と黒部ルートの開通がもたらすもの－（14:40～16:10） （富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久）</p> <p>【第2日目：8月31日(火)】 ⑤データから見る富山の産業と生活（9:00～10:30） （富山地域学研究所所長（元富山国際大学教授）浜松 誠二 氏） ⑥朝日町の良さを活かした移住・定住促進（10:40～12:10） （朝日町住民・子ども課移住定住相談員 善田 洋一郎 氏） ⑦富山の農林水産業の新しい姿（13:00～14:30） （富山県副知事 横田 美香 氏） ⑧町家のリノベーションと地域活性化（14:40～16:10） （グリーンノートレーベル株式会社代表取締役 明石 博之 氏）</p>

【第3日目：9月1日(水)】

⑨富山のくらしと水 (9:00～10:30)

(富山国際大学名誉教授 尾畑 納子 氏)

⑩富山県の自然と歴史・未来－防災・基幹インフラ・産業・文化・環境・共生・人づくり－ (10:40～12:10)

(消防庁消防大学校客員教授 石井 隆一 氏)

⑪北陸・富山の地形の特徴－扇状地や河岸段丘を中心に－ (13:00～14:30)

(日本黒部学会顧問 國香 正稔 氏)

【第4日目：9月2日(木)】

⑫富山市街地の歴史をたどる (レクチャー) (9:00～10:30)

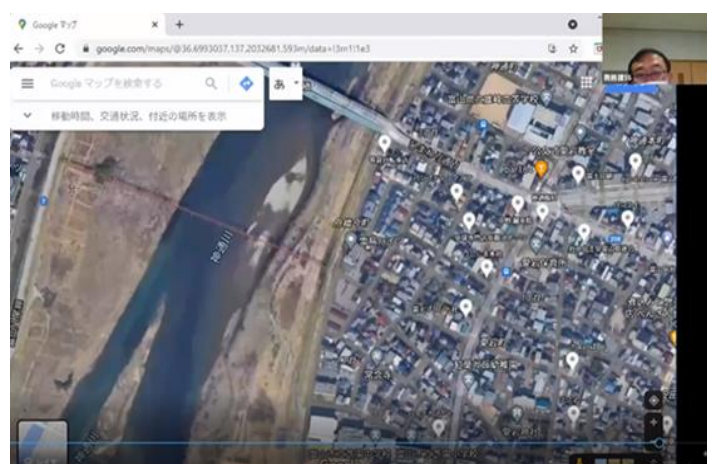
⑬富山市街地の歴史をたどる (バーチャルフィールドワーク) (10:40～12:10)

⑭富山市街地の歴史をたどる (ディスカッションと解説) (13:00～14:30)

(富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏)

⑮まとめ、課題提出について (14:40～16:10)

(富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久)



Zoom ミーティングを利用した遠隔授業で実施